

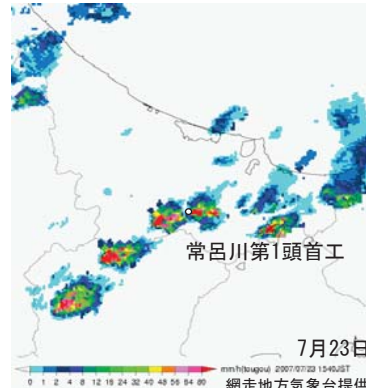
これまでの濁水等に関する対策

平成18年2月に『常呂川流域環境保全に関する提言』が策定

平成19年の局所的豪雨による濁水発生

常呂川から取水(常呂川第1頭首工)している北見市の水道について相次ぐ断水・給水制限が発生

降雨の状況



6月24日

月日	取水停止	断水	給水制限
6月22~27日	6.0	25.3 仁頃地区：105.8	-
7月23~26日	12.5	21.5 仁頃地区：48.3	11.0
7月28~29日	4.5	-	20.4
8月7日	5.3	-	-
8月10日	4.5	-	-
9月16日	6.4	-	-
9月25日	4.5	-	-
10月5~6日	8.1	-	-

単位:時間



7月24日



7月23日



7月28日

各機関で様々な対策、観測等を実施

常呂川の濁水に関する知見等

常呂川の濁水に関する流域対策検討会の開催

- 常呂川流域の濁水対策について各機関で対応可能な具体的な対策の検討
- 雨の降り方等により、高濁度が発生する支川は異なり
- 高濁度の発生は、必ずしも第一頭首工直上流部特有の現象ではなく、場所を限定せず発生しうるものと考えられる。
- 本川の流量が少なく高濁度の支川流入がある場合に、本川の濁度が上昇しやすいと考えられる。
- 濁度の主な成分はごく細かい粒子であると考えられる。

対策の方針

- 常呂川全体の水環境を考えた場合、流域一貫した取り組みが必要
- 沈降等による対応は慎重な検討が必要である。
- 濁度成分の流域からの流出抑制が効果的と考えられる。

【平成19年常呂川の濁水に関する流域対策委員会】

- 委員
- 伊藤 陽司・・・北見工業大学 工学部 土木開発工学科 准教授
  - 座長 海老江 邦雄・・・北見工業大学 名誉教授
  - 小松 輝行・・・東京農業大学 生物産業学部 作物生産管理学研究室 教授
  - 佐渡 公明・・・北見工業大学 工学部 土木開発工学科 教授
  - 佐藤 弘和・・・北海道立林業試験場 企画指導部 企画課 研究主任
  - 東田 修司・・・北海道立北見農業試験場 技術普及部長
  - 中山 恵介・・・北見工業大学 工学部 土木開発工学科 教授
  - 永禮 英明・・・北見工業大学 工学部 土木開発工学科 准教授
  - 早川 博・・・北見工業大学 工学部 土木開発工学科 准教授

オブザーバー 網走地方気象台 JAきたみらい  
事務局 網走支庁 網走土木現業所 北見市 訓子府町 置戸町 網走開発建設部



# 常呂川の水をきれいにしたいね!



網走支庁 網走土木現業所 北見市 訓子府町 置戸町 網走開発建設部

# 平成19年常呂川の濁水に関する検討会で考えた対策を地域の協力を得ながらすすめます。

川岸に草が生えていないと、雨が降って川に水が流れ込むときに川岸が崩れて流れ出します。

川が小さいと雨が降るとあふれやすく、川の流に畑の土がさらわれて流れ出します。

雨が降ると舗装していない道は、水の流れて壊れて流れ出します。

雨が降ると川沿いの舗装していない道（河川の管理用通路）は水の流れて壊れて流れ出します。

水切りを細めにして水の流を弱めて壊れにくくします。

木のチップを敷いて水の流を弱めるとともに土砂をこしとる効果を期待します

川の岸に芝などを植えると、崩れにくくなります。たまった土砂をこまめに上げるとあふれにくくなります。

水路が小さいと、雨が降るとあふれやすく水路の流に畑の土がさらわれて流れ出します。

川を大きくしてあふれにくくします。小さな堤防で川岸に流れ込みにくくするとともに川岸に芝などを植えて壊れにくくします。

砂利などで舗装して壊れにくくします。

雨が降ると水路に水が流れこむ時に川岸が崩れて流れ出します。

水路の岸に草が生えていないと、雨が降って水が流れ込むときに岸が崩れて流れ出します。

地域と連携して水路の岸に芝などを植えて崩れにくくします。

水路の岸に芝などを植えると、崩れにくくなります。たまった土砂をこまめに上げるとあふれにくくなります。

樹木を植えると、積もった葉などに濁った水がしみ込みます。

水防拠点を活用し、地域と連携して植樹用の苗を栽培します。

規模や構造に注意しながらますを作って土砂をためます。

耕し方や土づくりを工夫すると土砂が流れ出しにくくなります。

土砂が流れ出しにくくなる流域づくりについて、関係する流域の皆さんに説明し、協力をお願いします。

雨が降ると流域の濁った水が排水路に集まってきます。またこの流れによって川岸がくずれて流れ出します。

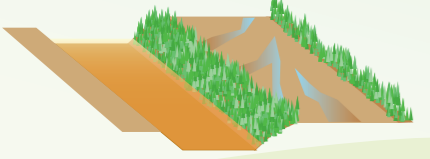
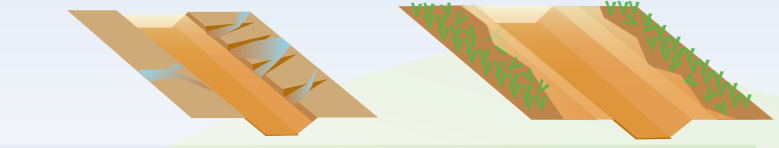
畑を上下方向に向かって耕すと、水の流が強くなり、雨が降ると畑の土が出しやすくなります。

収穫後の畑に植物（緑肥）を植えると、裸地となる期間が短くなり、畑の土が流れ出しにくくなる上、土づくりにもなります。

収穫後の畑は、作物がなくなるので、雨が降ると畑の土が出しやすくなります。

関係する機関の職員向けに土砂の流出について基礎知識に関する講習会などを行い、技術力の向上を図ります。

引き続き、関係機関で情報の共有を行うほか土砂流出に関する調査検討を行います。



元の川の大さ

